

一般社団法人日本樹木医会北海道支部 令和5年度冬期事例発表会

日時 令和6年2月16日（金） 13:00～15:45
 場所 かでる2.7 920会議室（札幌市中央区北2条西7丁目）

プログラム

時間	発表者	題名	要旨
13:00	開 会		
13:05 ～13:35	阿部 正太郎	北京緑化関係団体研修のための北大構内ハルニレ診断調査報告	北京緑化関係団体と大学関係者30名が研修のため、10月30日北大を訪れ、そのお世話をした北大の小池先生の依頼により、大学構内のハルニレ2本を説明しながら診断し、カルテを作成する研修を行ったので、その内容について報告する。
13:35 ～14:05	木戸口 和裕	山間多雪地に植栽された大山桜の育樹事例	2016年に団体Hが「道民の森神威尻地区」内に記念樹として、大山桜3本を植栽したが、その後、枯死や衰弱が見られた。このため、2019年から2023年まで、移植、（割竹）縦穴式土壌改良法の実施、フルボ酸配合の植物活性剤の使用、防雪杭の設置、獣害防止材の設置、根元保護フェンスの設置などを内容とした育樹を企画し、団体Hの育樹行事などで実施した。山間多雪など育樹における課題とその対応について事例報告する。
14:05 ～14:15	休 憩		
14:15 ～14:45	日月 伸	樹木医業務への公開地図画像データの活用	インターネットでは、過去から最新の航空写真や起伏のデータ、道路から見える風景などの画像データが無料で公開され、いつでも手軽に閲覧できる。これらは、樹木の現地確認前の概要把握や、樹木の生育歴の把握など、樹木医業務にも有効に活用できる場面がある。公開画像や無料の地理情報システムを樹木医業務に活用した事例を紹介し、これらのデータの樹木医業務への活かし方について考える。
14:45 ～15:15	○白鳥 桂子 鮫島 宗俊	中島公園日本庭園のシダレザクラ土壌改良について	中島公園の日本庭園内にあるシダレザクラの枝が衰弱している状況にあるため、令和4年及び令和5年11月にエアスコップによる土壌改良処置を実施した。土壌改良の方法、使用した土壌改良剤及び今後の課題について報告する。
15:15 ～15:45	池ノ谷 重男	外観から腐朽（空洞）の大きさの推定とレジストグラフを用いた診断の留意点について	腐朽露出部や開口部があれば、鋼棒等の貫入により腐朽（空洞）の深さは測定できるが、広がり（幅）は測定できない場合が多い。そこで切り株写真やレジストグラフによる診断結果から、外観から腐朽の大きさ（幅）を推定できないかを検討した。また、ベッコウタケによる根株腐朽や歪な形の腐朽におけるレジストグラフ診断の留意点について報告する。

※○は発表者
 ※発表20分、質疑10分